



萩よりだ協社

撮影 下瀬信雄さん モデル（左から）萩観光小町 松尾真琴さん、高壽志穂さん（ともに山口銀行萩支店勤務）

赤い羽根がやさしい気持ちを届けます

Vol. 71

2017
10/1

赤い羽根共同募金を通して、皆さんから寄せられるたくさんの想いが、萩市の「未来を笑顔に」する活動として形を変え、地域福祉の課題解決につながっています。

最近では、企業の社会貢献活動としても注目されており、山口銀行萩支店では、その一環として、毎年10月1日から数日間、全行員が赤い羽根を付けられ、共同募金運動の啓発になっています。

赤い羽根共同募金は、皆さんのやさしい気持ちを形にして、皆さんの地域に届けます。どうぞ皆さんの想いをお届けください。今年もご協力よろしくお願いします。

赤い羽根共同募金

未来を笑顔に…そして共同募金70周年

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。昭和22年、戦後の苦しい生活の中でのお互いの助けあいとして、その役割を果たしてきました。現在では、地域で暮らすちよつとした困りごとを地域福祉課題ととらえ、共同募金を活用して、その課題把握と解決に向けるしくみづくりを行っています。それは、「じぶんの町を良くするしくみ」として、今年、70周年を迎えます。

災害時支援にも

平成25年の萩市東部集中豪雨災害、昨年の熊本地震災害、そして今年7月の九州北部集中豪雨災害においても、各地で社協が主体となって災害ボランティアセンターを運営しています。その活動財源にも共同募金が使われています。

募金百貨店プロジェクト 第2号店

山口県共同募金会では、5年前に「募金百貨店プロジェクト」を始められました。これは、「募金つき商品・企画」を販売し、売上の一部を寄附することにより、地域に貢献する

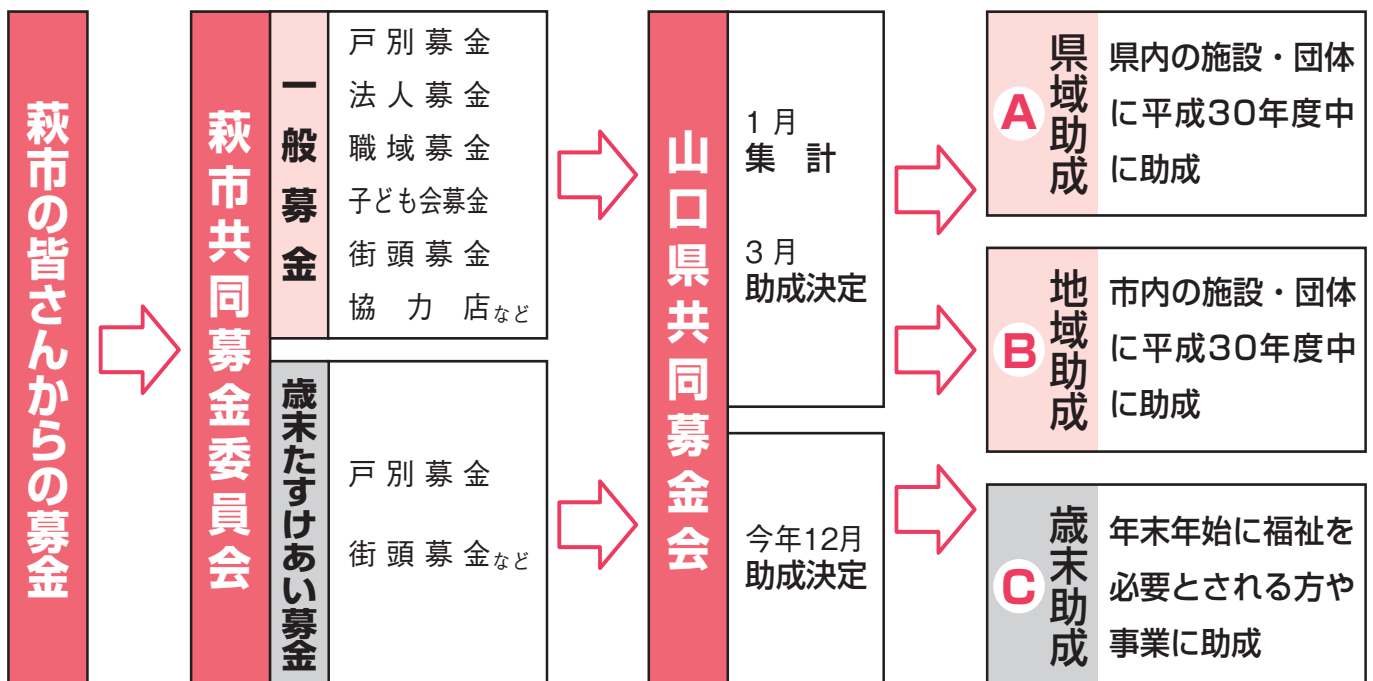
企業・団体等を募集するプロジェクトです。

萩市での第1号店は、株式会社佐伯時計店様で、創業100周年記念として、時計と補聴器の電池1個交換することに100円寄附をするという企画にご協力されました。

このたび、萩市での第2号店として、株式会社訪問看護ステーション陽向様（ひなた）が協力されることになりました。「陽向の訪問看護で地域を支えるプロジェクト」と題して、訪問看護1回につき10円が、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるための活動に寄附されます。代表取締役の阿武知弘さんにお聞きしました。



6月30日、陽向の阿武さんと萩市共同募金委員会の藤道会長との覚書調印式



陽向様の想いとは

Q1 募金百貨店プロジェクトに参加された理由は何でしょうか？

阿武さん 参加の理由は、大きく2つあります。1つ目は、まだまだ知名度の少ないこの「訪問看護」という仕事を多くの皆さんに知っていただくことです。

共同募金は、知名度も大きく、広く皆さんに知られているため、プロジェクトに参加することでこの訪問看護という仕事のことを知っていただけと思ったからです。

2つ目としては、この募金百貨店を通じて萩市の高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるための活動に貢献できることです。

私たちの仕事は主に萩市内の小児から高齢者の方に向けた仕事です。特に高齢化の進んだ萩市では高齢者の方がより住みやすい街づくりを構築していくことが急務となります。そういった活動のために使っていたければ、より豊かな社会の実現ができると思っています。

今回の共同募金では、1回の訪問につき10円



陽向連絡先 萩市土原217-1 ☎0838-22-5710

を寄附するようにしています。訪問看護を実施することで、まずは利用者様の安心して暮らせるまちづくりの実現ができ、また、利用者様が支払った利用料金が萩市がより豊かな社会の実現ができる

とすれば、萩市、利用者様、私たち訪問看護、そしてその実現のための共同募金でより良い循環サイクルができると 생각합니다。その一助が私たちが担えれば幸いです。

Q2 訪問看護と募金百貨店プロジェクトによるコラボは県内初ですが、御社にとってどのような強みになりますか？

阿武さん 県内初の事例ということであれば、参加を検討している様々なその他の業種の企業様にとっても参考事例にもなりうると思っていますので、その成功事例になればと思っています。また、訪問看護を選ぶ際のきっかけにいただければ幸いです。「訪問看護ステーション陽向」を利用すれば、自分が支払った利用料金の一部が募金され、より豊かな萩市を実現するための一部になる、という部分で、私たちの訪問看護ステーションを知っていただければと思います。

Q3 共同募金を通して萩市がどんな街になってほしいですか？

阿武さん 募金は手段であって目的ではありません。募金をすることによってハード面での充実のもとより、ソフト面での充実が実現できればと思います。また、前述の質問でもお答えしましたが、萩市は、山口県の中でも高齢化の進んだ市です。若者の定住なども重要ですが、まずは、目下の問題である萩市の高齢者の方が、安心して、より住みやすい街になるよう、微力ながらお手伝いできればと思います。

今年の目標額 19,505,000円

【一般募金(赤い羽根共同募金)：11,375,000円／歳末たすけあい募金：8,130,000円】

皆さんからお寄せいただいた募金は、次のように使われます。

- **福祉施設・団体活動事業 3,538,000円 (18.2%)**
県内の福祉施設・団体の活動費や車輛のために。
- **ひとり親家庭支援事業 155,000円 (0.8%)**
ふれあいバス旅行など、母子父子家庭への支援活動に。
- **高齢者福祉事業 1,838,000円 (9.4%)**
ふれあい・いきいきサロンの支援や高齢者の配食サービスなど、生活を支援するために。
- **福祉育成・ボランティア事業 3,419,000円 (17.5%)**
社協だよりや地域福祉推進セミナー、福祉体験学習、ボランティア活動のために。
- **障がい児者福祉事業 1,601,000円 (8.2%)**
交流事業や大会など、障がいのある人が地域で安心して生活するために。
- **歳末たすけあい事業 8,130,000円 (41.7%)**
歳末に際して福祉を必要とされる世帯や児童・障がい者施設の年末年始の事業のために。
- **児童福祉事業 824,000円 (4.2%)**
健全育成につながる交流事業や大会など、児童が健やかに成長するために。

募金のうち8割は萩市内の福祉活動に使われます。





会長就任のご挨拶

社会福祉法人 萩市社会福祉協議会

会長 大島 昌子

市民の皆様には、平素から萩市社会福祉協議会の諸事業に積極的にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて現在、萩市民の暮らしの基盤となる身近な地域社会において、地域の課題を解決していく**地域力**やお互いに支え合い共生していける**福祉力**が弱まっています。

少子高齢化による人口構造の変化、地方の過疎化、地域間格差の拡大などにより「地域内」や「家族内」の**支援する力**が低下してきているという状況があるからです。

それに対応するために、国においても様々な政策が展開されており、平成27年に改正された「介護保険制度」の「新しい総合事業」では、孤立防止を介護予防に位置づけ、地域生活支援への転換が進められています。

平成28年の「改正社会福祉法」では、社会福祉法人が地域の福祉課題・生活課題の解決を図る新たな取組を進めていくことが求められており、いずれも社会的孤立や制度の狭間の問題に焦点をあて、地域づくりを進めていくということを重視しています。

そのため萩市社会福祉協議会では、萩市や他の社会福祉法人など関係諸団体と**連携して**「誰もが支え

支えられる地域社会」の実現に取り組んでいます。

平成27年度より3年間をかけて、市内の生活圏域ごとに地域住民や関係団体で構成する協議体をつくり、それをサポートする推進員を配置し、各地域の高齢者を取り巻く課題やニーズの把握を行いました。その結果をふまえて、地域住民が主体的に地域の生活課題を話し合い、それぞれの地域に合った取り組みを柔軟に進めていくことができるように「地区社協」の設置及び「生活支援サービス体制整備事業」を推進してきたところです。

8月末現在、すでに10の地区社協が誕生し、住民主体によるサービスも9地区で実施されています。平成29年度以降も、残る地域の地区社協設立をはじめ、地域福祉の包括的相談支援を、民生委員・児童委員、福祉員の方々などと共に、着実に推進してまいります。

平成25年の萩市東部集中豪雨災害以降、市民の方々の積極的なご参加をいただき、萩市と共に災害ボランティア派遣事業を行っています。

今後とも、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

新評議員・新役員

社会福祉法人等の一部を改正する法律が4月1日から施行されたこととともない、萩市社会福祉協議会では、評議員及び理事の員数を変更し、次の評議員及び役員で社会福祉法人制度の改革を進めていきます。

◆理事10名 監事3名 10月1日現在

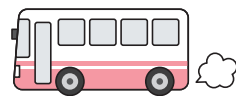
役職	氏名	住所	役職	氏名	住所
会長	大島 昌子	恵美須町	理事	杉山 芳文	江向
副会長	大嶋 宏史	浜崎町	理事	田村 充正	土原
理事	板井 昭憲	下田万	理事	長谷 勝	江崎
理事	小野 良夫	片俣	監事	板井 英文	下田万
理事	笠内 榮子	須佐	監事	藤 佳奈代	東田町
理事	金子まり子	椿東	監事	林 壯助	佐々並
理事	河村 正男	三見			

◆評議員18名 10月1日現在

氏名	住所	氏名	住所
石丸 智子	北古萩町	長田 光雄	椿東
小河 里美	上小川東分	中村 積	福井下
小野村 寛	椿東	西元 勇	大井
河名 凌哲	椿	早野 繁	江向
國光 伸征	大島	村谷 充生	山田
小林 庸子	佐々並	村中 京子	江崎
品川 和司	須佐	守永 辰夫	明木
津村 博子	堀内	楊井 敦子	椿
長岡 和子	川上	山本五百子	椿東

復興を願う気持ちを乗せて

災害ボランティアバス



8月20日、7月上旬の九州北部豪雨により被災された方々を支援するため、災害支援ボランティアバスを運行しました。30名で福岡県朝倉市杷木へ行き、3組に分かれて活動しました。日差しも強く、暑い一日でしたが、床上の泥出しや家財の運び出し、土砂かきなど、『復興を願う気持ち』や『4年前の感謝』をそれぞれが持ちながら、活動されたのではないかと思います。復興にはまだまだ時間がかかりそうでした。被災されたまちと、そこに住む皆さんの心の安心が一日でも早く戻るよう、萩市社協としてもできる支援を続けたいと思います。

復興祈願

須佐（大学生） 矢野 侑紀

私の地元である須佐地区でも、4年前に豪雨災害が起こりました。その時辛いこともあったのですが、それ以上に記憶に残っているのは、ボランティアに来てくださったたくさんの方々、に元気をもらったことです。

す。当時、私はボランティアセンターのスタッフとして活動していました。猛暑にも関わらず、多くの方が来てくださったこと、活動を終えた後には疲れを感じさせない笑顔で話しかけてくださったこと、心の底から嬉しかったです。

今年、福岡県でも同じような災害が起こり、今、自分にできることをしたいと思ったため、今回のボランティアに参加しました。実際に行ってみて、災害から1か月半経った今も災害前の生活ができていない方がいることを知り、衝撃を受けました。そして、災害復興をするためには、本当に多くの人の力が必要だということを感じました。これから自分になれることを探して少しでも力になれたらいいなと思っています。一日も早い復興を祈っています。

心を込めて…

8月20日、私は高校生の長男、匠馬と一緒に、社会福祉協議会主催のボランティア活動に初めて参加しました。一人ひとりの小さな力でも何か役に立てることがあれば、と思い参加を決意しました。

バスで福岡県朝倉市に入り、受付を済ませ移動後、3グループに分かれ、長男と違うり災宅に行きました。そして、長靴のまま家の中に入り、スコップで泥をかき出す作業をしました。水を含んだ土は想像以上に重く、作業は大変でしたが、午前中に何とか終了しました。午後からは、家主さんと一緒に家の中に残ったものを仕分け、運び出す作業をしました。

ある日突然、予想以上の雨が降り、山が崩れ、当たり前だった生活ができなくなり、時間の流れが止まって



9月14日、2回目の災害支援ボランティア活動の様子

しまった家の中。自然災害の恐怖を改めて感じた瞬間でした。

たった一日の作業でしたが、心を込めてさせていただき、よい体験になったと思います。



平成25年8月萩市災害ボランティアセンターにて
写真左 当時中学3年生の矢野さん

むつみ 三海 真裕美

善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
萩			
吉村 恒満	見島10区	妻／節子	金一封
向山 義隆	見島1区	母／和子	金一封
岩本 和剛	江向1区の4	父／和是	金一封
山本 哲也	今古萩町の2	父／誠	50,000円
池部 圭一	大島西	妻／芳子	金一封
長岡 秀典	大島赤穂瀬前	母／シヨ	金一封
中村 建夫	北木間	母／スエコ	金一封
三井 龍夫	大井浦下	母／花子	金一封
古谷 康治	大井港中	父／元治	金一封
岩垣 法順	北古萩1区の3	父／順孝	金一封
波多野重成	山口市折本	兄／和成	金一封
山根 勝美	船津の1	母／登貴枝	金一封
中原 公生	玉江浦1区の2	母／ノブ子	金一封
綿貫 修	無田ヶ原の2	父／次夫	金一封
堀永 百代	三見浦4	夫／賢治	金一封
奈良 祐介	中津江の1	父／省三	金一封
中村 英子	大井本郷	義母／カツ子	金一封
鍵村 一之	大井市場	叔父／馨	金一封
大津 利顕	見島9区	父／正寛	金一封
濱村 敬之	見島9区	父／正之	金一封
松浦 寿	中小畑の4	妹／河濱千枝子	金一封
水津 佑太	大井港浜の1	父／悦雄	金一封
柴田 澄江	前小畑2区の3	夫／三栄	50,000円
橋本 克己	玉江浦1区の3	母／ユキコ	金一封
玉井 伸武	今古萩町の1	妻／宏子	金一封
村木 謙二	上野の1	母／貞子	金一封
藤本 省三	上野の1	母／美壽子	金一封
井本 龍弘	大島赤穂瀬前	母／朝子	金一封
濱崎 幸代	倉江の3	夫／清美	金一封
岩本 龍治	熊谷町の2	母／美智	金一封
佐伯 圭祐	東田町東区の2	父／政樹	1,000,000円
岡村 茂雄	大島赤穂瀬先	母／ミツエ	金一封
角屋 孝一	玉江浦1区の3	母／勝子	金一封
浅野 早苗	川島3区の1	夫／隆一	金一封
赤崎 智江	見島4区	父／晋也	金一封
田坂 玲子	江向1区の3	母／トシ子	金一封
森永 里佳	川島1区の2	父／宮木和則	金一封
匿名			20,000円
綿屋 雄次	倉江の2	母／富士子	金一封
藤原 進	平安古西区の1	父／俊祐	金一封
飛田 文雄	新川東の2	母／節子	金一封
長岡 幸則	平安古東区の4	母／ヒサ子	金一封
三村 修身	三見河内	母／菊江	金一封

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成29年6月1日～8月31日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
上田 敏行	中小畑の1	妻／幸子	金一封
川 上			
烏田 茂夫	横坂	母／幸子	金一封
烏田 朝美	横坂	母／ツタエ	金一封
金子 住江	江舟	夫／豊	100,000円
田 万 川			
井上 一男	小川21区	妻／壽子	金一封
岩本 正敏	小川1区	妻／順恵	金一封
豊田 清	下中町	母／鶴世	金一封
吉野 優	広島市中区	父／巖	金一封
三浦 勇	戎一	弟／寛顯	金一封
津田市之助	江津	母／ウメ子	金一封
友中 学	小川13区	父／富雄	金一封
杉山 恵子	土居	夫／長武	金一封
竹村 雪代	弁天	夫／文一	金一封
む つ み			
岡村 秀行	領家	母／タケコ	金一封
草野 元	広瀬上	父／祐次	金一封
大枝 学	椿	母／綾子	100,000円
柴田 和正	毛木	父／正生	金一封
原 康之	後井	父／政彦	金一封
須 佐			
井村 一広	浦中	妻／浩子	金一封
児玉 勝美	弥富12区	父／徳榮	金一封
伊藤 賢次	千葉県柏市	母／ミチコ	金一封
山本 春江	帆柱	夫／美信	金一封
仁保 正司	弥富7区	妻／美鳥	金一封
窪田 博史	入江	夫／義文	金一封
野崎 雄三	浦西	父／哲利	金一封
小見山正子	弥富5区	夫／明人	金一封
津守 武敏	野頭	母／マツ子	金一封
中村 為子	弥富1区	夫／亨	金一封
旭			
神崎 実	牛地	父／壽美夫	金一封
藤家 賢昭	久年	姉／和子	100,000円
齊藤 敏光	下横瀬	母／アサ子	金一封
氏川 豊	鉦切	妻／芳子	50,000円
阿武 智史	牛地	父／要一	金一封
福 栄			
原 惟陶	小西見	妻／糸子	金一封
野上 幸浩	奥畑	父／忠芳	金一封
長岡ミドリ	紫福市	夫／健治	金一封
近江 隆史	畑	母／光江	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
匿名		社会福祉へ	10,000円
創花の会	今古萩町の2	社会福祉へ	21,500円
匿名		社会福祉へ	8,650円

氏名	住所	備考	金額
田万川			
県会議員会	下本郷	社会福祉へ	15,500円
旭			
木村 洋美	成川	社会福祉へ	金一封

(香典返し・一般寄付合計 92件 4,085,973円)

物品寄付

※旭の食料は個人支援のために地域の方々に協力いただきました。

物品名	氏名	住所
萩		
インスタントみそ汁、麺つゆ、レトルト雑炊	フードバンク山口	山口市黒川
旭		
米、野菜など	岡村 健哉	蔵屋
米、野菜など	佐久間 三重子	佐々並市

物品名	氏名	住所
米、野菜など	藤本 勝利	大下
米、野菜など	小林 庸子	高津
米、野菜など	山本 満雄	大下
福栄		
紙おむつ パット	長岡 ミドリ	紫福市

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

お知らせ

萩市社会福祉協議会職員募集

次のとおり職員を募集します。

- 職種・募集人員 事務職員（2人程度）
- 受験資格
 - 昭和57年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方
- 募集期間 平成29年10月16日(月)～平成29年11月15日(木)
- 試験日時・試験内容
 - 1次試験／12月10日(日) 筆記
 - 2次試験／12月24日(日) 面接
- 採用予定日 平成30年4月1日
- 申込方法

次の提出書類を〒758-0041 萩市江向356-3 萩市社会福祉協議会へ郵送または直接持参してください。
- 提出書類
 - ①市販の履歴書（写真添付）、②最終学校卒業（見込）証明書、③最終学校成績証明書
 - ※社会福祉士などの資格があれば、その写しをご提出ください。
 - ※郵送の場合は、当日消印有効です。
 - ※持参の場合は、募集期間中の土・日曜日、祝日を除く午前9時から午後5時30分までにご持参ください。
- 問合せ

萩市社会福祉協議会総務課 電話0838-22-2289

交通遺児払出金の申込み

萩市善意銀行では、交通遺児への積立金がありますので、払出します。歳末たすけあい募金配分と同様にお申込みください。

- 配分対象及び配分予定額
 - 18歳未満の交通、海難、航空遺児のおられる世帯
 - 1世帯5,000円、1人につき5,000円

第6回 明るく楽しい介護川柳の募集

介護の中でふと感じる気持ち、思わず笑ってしまった、しあわせを感じたり、普段は言えないことなどの川柳を募集します。

- 募集期間 10月11日(水)～12月11日(月)必着
- 応募数 1人2句まで（自作で未発表のもの）
- 応募資格
 - 【ジュニアの部】市内小・中学生
 - 【高校生・一般の部】市内在住または通勤、通学している方
- 応募方法 応募用紙は自由（住所、氏名、年齢、学校名、電話番号を明記のこと）。
- 表彰 第3回市民大学教養講座・男女共同参画推進セミナー・第8回高齢者虐待防止研修会で表彰し、優秀作品には賞を贈ります。
- 応募先 萩市社会福祉協議会本所、各事務所

歳末たすけあい募金配分申込み

歳末たすけあい募金の配分を次のとおり行います。

- 配分対象及び配分予定額（生活保護受給世帯は除く。）
 - (1)生活困窮世帯、準要保護世帯
 - 1世帯5,000円、1人につき3,000円
 - ※民生児童委員、教育委員会に照会します。
 - (2)在宅介護者 5,000円（現在、次の家族を在宅で6か月以上介護している主たる介護者）
 - ①要介護3、4、5 ②身体障害者手帳1、2級
 - ③療育手帳A、B ④精神保健福祉手帳1、2級
 - ※被保険者証または手帳の写しを添付。
- 申込方法

萩市社会福祉協議会本所・各事務所、萩市の総合事務所・支所・出張所に備付の申込書を提出。（振込を希望される方は、通帳をご持参ください。）
- 受付期間 11月1日(水)～12月5日(火)
- 交付期間 12月18日(月)～12月25日(月)
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

特別講演

「家族」

～マスオさんが語る理想の家族～

講師 声優 増岡 弘さん

日時 平成29年 10月14日(土)

13:30～ 表彰式典

14:30～ 特別講演

場所 萩市民館大ホール



明倫小学校 3年
野田 采花

越ヶ浜小学校 6年
伊澤 颯真

講師プロフィール

増岡 弘 ますおか ひろし / 声優・俳優

アニメ「サザエさん」での生真面目で人の良いマスオさん役や、「それいけ！アンパンマン」のジャムおじさん役の声優としてお馴染み。

劇団東京ルネッサンスの代表として、若手の育成にも注力。

『マスオさんのみそづくり指南』を執筆するなど、趣味の味噌づくりを通じたナチュラルリストとしても活動中。



後援 萩市